

## 令和5年度 国語科 「現代文B」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 文系 3年A～D組
教科書	精選現代文B（教育出版）	副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「完成日本文学史ノート三訂版」（京都書房）

## 1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

## 2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
前期	4	人物・情景・心情の描写を的確に捉え、表現を味わおう。	【小説】「檸檬」（梶井基次郎）	独特な感覚表現や、比喻・形容の仕方とその表現効果について考える。	文学作品の表現効果について考えを深めようとしている。
	5	世界について新たな認識を得て、自分の考えを深めよう。	【評論】「ロスト近代」（橋本努）	社会システムのあり方について考える。	社会のシステムについて理解している。
	6	構成・展開・要旨を的確に捉えよう。	【評論】「陰翳礼讃」（谷崎潤一郎）	身近な「陰翳」について考える。	日本文化と「闇」という視点に興味を持ち、筆者の主張を読み取ろうとしている。
		言葉や表現から他者の立場や境遇を想像しよう。	【評論】「互酬性の地平―エカシの語りから」（今福龍太）	筆者の論点を、提示される豊かなイメージとともに、自分自身の問題として捉える。	自分と全く異なる他者の立場・境遇の理解のために想像しようとしている。
		7 筆者の問題意識を的確に読み取り、視野を広げよう。	【評論】「『知』をこえる知」（田川健三）	「近代」の矛盾を乗り越えるために必要な本物の知性とは何かを考える。	筆者が強く主張する真の「知」について自分の言葉で説明しようとしている。
		8 文語体で書かれた小説を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写を的確に捉えよう。	【小説】「舞姫」（森鷗外）	場面ごとの登場人物の心境の違いや変化をまとめる。	鷗外の文体・描写を読み味わい、登場人物の心理の変化を正確にまとめて、主題を読み取っている。
		9			

学期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	評価の材料
後 期	10	時代背景を踏まえ、人の生き方について考えを深めよう。	【小説】「舞姫」 (森鷗外)	明治時代という時代背景を踏まえて、作品への理解を深める。	人間にとって普遍的な命題について考えを深めている。
		中世文学と現在の文学の関係性について考えを深めよう。	【評論】「幽玄の神秘主義」 (中沢新一)	本文に登場する四首の和歌を読み解く。	和歌の内容を十分に理解し、印象に残った点を話しあい、考えを深めている。
	11	小説の中の「小道具」の象徴性を探ろう。	【小説】「バックストローク」 (小川洋子)	特徴的な文章の比喻・象徴などの表現技法や小説時間の構成などの理解を深める。	小説の中の様々な問題は、私たちとは無縁ではないと気づき、自己を見つめようとしている。
		現代社会に通じる普遍的な課題について考えを深めよう。	【評論】「平家物語」 (小林秀雄)	古典で学習した作品や場面を取り上げ、紹介文を書く。	紹介文を書くために、古典文学について様々な資料を調べ、まとめている。
	12	出来事と詩の言葉の関係性について自分の考えをまとめよう。	【評論】「出来事としての文学」 (小林康夫)	本文中での「テキスト」の意味や使われ方についてまとめる。	文学とは何か、自分の考えを深めようとしている。
	1	グローバルな世界と日本の関係性について考えを深めよう。	【評論】「グローバル化の波打ち際で」 (西谷修)	日本における「グローバル化」がもたらした影響について話し合う。	「グローバル化」について理解し、考えを深めようとしている。

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	近現代の文章を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、言語文化についての理解や感心を深めようとしている。
話す・聞く能力	話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現の仕方によって、自分の考えを文章にまとめ、深めている。
読む能力	文章の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
知識・理解	文章の構造や文章に用いられている語句の意味、用法を理解している。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「知識・理解」の5観点から評価規準に従い、定期考査の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢、アウトプットの仕方などを鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「現代文」は、自己や他者について深く考えたり、自分自身で人生を切り開き生きていくために、自ら文章を読解し、考え、表現する能力を養う科目です。したがって、授業には積極的な態度で臨み、「知識」だけではなく「思考力」を身に付ける気持ちで取り組んでください。